青梅療育院と皆様をつなぐ情報誌

2023

Vol. 99



ません。

国におい

ても毎

加

介護保

険

ずしも満足する支援が行われているとは

限

ŋ

現状の高齢者福祉の施策においては、

すべての高齢者が毎日

生を楽しく過ごされ

ることが望まれ の生活の中で、

ます

平

理 事 長 宇 津 木 敏 郎

む介護 進行とともに世帯構成の変化を背景に、 これからの高齢者介護においに迫られていると思われます。 度の資金繰りに関して、 なる精進を重ねてまいりたいと思います。 重大な責任を負っていることを自覚し、 安定的な事業の維持継続に向け その 連 層の努力を重ねていくことが大切です。 携が希 の施設において決して安心できな 祉 の質 ため介護人材の安定的な確保に て厳し 皆様に期待される施設とし 心」と言われますが、 からも市 薄化 0 向上に対処して 高齢者介護におい い状況が続 しつつあります。 民 0 生 活 特に人件費の財 課題 ています。 いくために 少子高齢 社会福: 積 私たち 玉 極 的 対 民 11 祉法 化の は、 地域 が 源 ŋ

自然 ることの尊さと喜びを深く感じます。 0 わ あり、 L がたさを感謝 の秋空に赤と んぼが飛び交 するとともに、

発行/社会福祉法人 仁育会 〒198-0023 青梅市今井3丁目12番地6 TeL0428-31-8055代 FAX0428-32-2387

9月

10

月

11

月

12

月

今後の行事予定

誕生会

敬老会

誕生会

運動会

誕生会

文化祭

紅葉ハイク 寿司の日

給食懇談会

十五夜茶話会

令和4年度事業報告

設長 七 枝 隆 志

経営理念の実践

せんでした。 点を意識した自治かとの交流も行う事ができま ランティアの受け入れも中止され、地域福祉拠 観点から地域行事は中止となり、藤橋小学校ボ も引き続き新型コロナウィルス感染拡大防止のを深めてまいりましたが、令和4年度について活を支援する」の経営理念の下、地域との連携 地域との連携を深め、 としての確立と、 安全を守るゆとりあ 信 守るゆとりある生頭される社会福祉

した。 ては、第三者評価にて公表することができま事業運営の透明性を示すための情報公開につ

らの新規入所者様が入所後に陽性であることがルスクラスターの経験を十分に活かし、外部かついては、昨年度の施設内での新型コロナウィ利用者様の安全を守るゆとりある生活支援に 療養期間を終えることができました。 **ニ明しましたが、他に感染を広めることなく、の新規入所者様が入所後に陽性であることが**

強化」「リハビリ」「ポジショニング」を重点項標を明確化し、特に「口腔ケア」「水分補給の梅療育院の目指すもの」を策定し、各部署の目 目として取り組みました。 であることから、令和4年度は 営に備えるためには今から施設内の改革が必要 経営状況が予想されます。 ととなりましたが、 今回の改築計画につきましては、 改築移転後は更なる厳し 改築移転後の安定経 「令和4年度青 延期するこ

年度青梅療育院の目指すもの」の取り組み事項 日数も徐々に少なくなってきており、「令和4 なってしまいましたが、年度後半では入院延べ め令和4年度の稼働率は前年度を下回る結果と 体機能の低下により入院者が増えてしまったた 昨年2月3月の施設内クラスター終息後は身 徐々に出始めていると思われます。

関係を一層高めていく方向性が示されていま 生活状況と介護支援に対する基本的方針等につ 祉法の改正によって、 て「青梅療育院のお知らせ」「しあわせだよ 社会福祉法人の役割や責任について、 青梅療育院では事業運営内容や入所者様の 地域への情報提供や協力 社会福

> り」「ひとことメモ」等を通して発信してきまし 情報発信に努めています。 等のSNSについても定期的に更新を行 また、「フェイスブック」「インスタグラ

すが、 動については継続して行っていただいて ては新型コロナウィルス感染防止対策の 元高齢者クラブによる施設内の除 自治会との夏祭りや合同防災訓 練につい 草 一奉仕活

組織の強化と人材育成

四

看護職員が退職となってしまいました。 常勤介護員、1名の非常勤事務員、 令和4年度は2名の常勤介護員及び2名

研修をタイムリーに確実に各部署が行うことに を増やすため、非常勤の入浴パートを4名採用 より早期退 しサービスの充実を図っています。 人材育成については、新規入職者 職防止につとめましたが、 計画的 0 入職

継続的な年間を通 した研修計画 が課題となって

地域福祉との関わり

誕生会 クリスマス・忘年会 餅つき大会 寿司の日

インフルエンザ予防接種

とても美しく感動しました。ご入居者様に感謝です してみて下さい。 ゆるやかな山稜ですので、 その名のとおり、山頂からの稜線と高山植物は にあり、「花の百名山」の一つにも選ばれています。 「平標山」に行ってきました。「平標山」は新潟県 今号も最後までお読みいただき、 比較的容易に高山の雰囲気を味わえる山頂まで また仙ノ倉山へと足をのばすルートは 登山が趣味の入居者様からお勧めされた ぜひ、皆様もアタック ありがとう





編

後

記 {

ができております。また、日中のフロアー職員い状態ですが、介護職員については、採用補充看護師、事務員については補充が出来ていな 年度も中止となってしまいました。 、1名の常勤及び2名の非

2023年6.7月の行事

吹上菖蒲園見学

















7月13日16日に迎え火・送り火を行いました。理事長がお経をあげる厳かな雰囲気の中、 ご先祖様の魂をお迎えしました。







個別ケア



個別ケアではご利用者様がやりたいことを応援します!











72 61 B 72 67 25 W-

想い出のフォトライブラリーは、青梅療育院に入居されておられる方々の4月~8 月までのホーム内で行われたイベントの記録です。 日頃の入居者様の様々な表情を写真でお伝えするものです。

つつじドライブ











東屋で新茶を飲む会







端午の節句茶話会

花火大会









納涼模擬店









